

5. 能力開発関係

第1表 運営主体別障害者職業能力開発実施状況の推移（昭和57年度～平成7年度）

(人)

年 度	国立都道府県営	国立協会営	府県立府県営	計
昭和57年度	2,090	200	330	2,620
58 ～ 61	2,090	200	340	2,630
62	2,090	255	340	2,685
63	2,090	280	340	2,710
平成元～7	2,090 (660)	280 (120)	380	2,750 (780)

(注) ()内は平成2年度から実施の向上訓練の定員であり、外数。

第2表 障害部位別障害者苦行能力開発校在校者の状況（平成5・6年度）

(%)

障害者の種類	平成5年度			平成6年度		
	国立	県立	合計	国立	県立	合計
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
視 覚	3.1	0.4	2.6	3.5	0.0	2.3
聴覚・平衡機能	11.3	3.4	10.0	13.1	5.0	9.0
音声言語そしゃく	3.6	1.9	4.0	5.3	2.7	3.8
上肢切断	2.9	2.6	3.5	2.6	0.0	1.7
上肢機能	32.9	14.6	36.1	28.7	16.7	20.5
下肢切断	2.3	2.2	2.3	4.2	1.5	2.9
下肢機能	43.7	20.2	39.6	42.3	24.8	30.3
体幹機能	14.6	7.5	13.3	11.5	8.0	8.4
内臓機能	4.5	0.7	3.9	5.5	0.0	5.4
結核回復者	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
精神薄弱者	13.3	68.9	23.1	12.9	66.8	26.4
その他	0.3	0.7	0.3	1.0	1.1	1.2

(注) 重複障害は、それぞれの欄に入れてあるので内訳の合計欄の数字を上回る。

第3表 障害の程度別障害者職業能力開発校在校者の状況（平成5・6年度）

(%)

障害者の程度	平成5年度			平成6年度		
	国立	県立	合計	国立	県立	合計
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1級	17.6	32.0	23.0	22.2	26.0	22.5
2級	37.4	27.2	34.6	35.2	33.0	35.0
3級	20.6	22.3	19.7	19.3	17.0	19.2
4級	10.0	12.6	9.7	12.0	12.0	12.0
5級	7.5	3.9	6.8	7.1	6.0	7.0
6級	6.8	1.9	6.1	4.2	6.0	4.3

第4表 障害の理由別障害者職業能力開発校在校者の状況（平成5・6年度）

(%)

障害者の理由	平成5年度			平成6年度		
	国立	県立	合計	国立	県立	合計
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
先天的	34.0	49.8	36.1	34.4	41.2	35.5
疾病	36.0	7.2	30.4	34.6	12.7	31.1
産業災害	3.6	2.6	3.4	5.6	0.2	5.7
交通災害	15.4	6.0	13.5	17.1	14.5	15.7
戦傷災害	0.0	0.0	0.0	0.2	0.8	0.3
その他	11.0	34.3	14.8	8.2	36.7	12.7